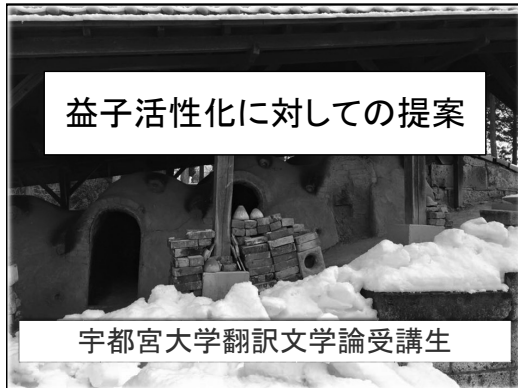


益子プロジェクト報告

バーバラ・モリソン (Ph.d)

Mashiko Project consists of a grant provided by CMPS for two (academic) years (H27-H28) during which time Dr. Morrison and Dr. Izuha work with students from the International Faculty of Utsunomiya University in order to understand the ways in which Utsunomiya University students and Mashiko residents can work together as a community in mutually beneficial ways through a greater understanding of cultural issues including constructions of identity. For the first year Utsunomiya University students met with both Tomoo Hamada (Director) at the Memorial Mashiko Sankokan Museum (濱田庄司記念益子参考館) and members of the Mashiko Town Tourist Association (益子町観光協会) at the Mashiko Community Center (益子町中央公民館) in order to understand and to discuss what residents find to be meaningful and significant about their own town and environs. Students created the presentation (noted below) that was presented to the Mashiko Town Tourist Association and is indicative of the general direction of the Mashiko Project.

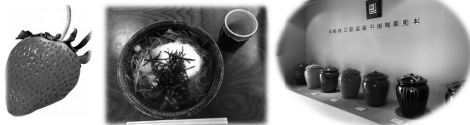


はじめに

- 翻訳文学論を通して...
→日本文化における自然、芸術
- 2015年12月17日 益子参考館訪問
- 2016年1月24日 宇都宮大学学生との観光ボランティア情報交換会

益子のイメージ

- 民芸: 藍染め、益子焼き、土
- 歴史: 祇園祭、手筒花火、炎祭り、神社、寺
- 建物: 温泉、おしゃれなカフェ
- 自然: 桜、ひまわり、紅葉、コスモス、あじさい
- 食べ物: そば、せんべい、いちご



注目: 四季折々のイベント

- 春: 桜、いちご狩り、あじさい、陶器市
- 夏: ひまわり、祇園祭
- 秋: 紅葉、コスモス、陶器市
- 冬: クリスマスイベント、土雛祭り

しかし...
→冬のイベントをよりよくできるのでは?
冬の名物をつくる!

スタンプラリー制の導入

- 1年を通して完成するスタンプラリー
→四季を通しての集客を見込める
リピーターの増加!

冬の名物に関する提案

冬祭り

- コンセプト: 民芸×ろうそくの灯
- キーワード: “ほっとするようなぬくもり”
- 対象者: 幅広い年代層
- 夜のイベント

冬祭りの開催期間

- 土雛祭り期間中の土日

理由

- 週末→家族連れを考慮
- 既存のイベントとの融合→集客率の増加

冬祭りの開催場所

- 陶芸メッセ



理由

- 陶器市の開催地:慣れ親しむ地
- 遺跡広場:広い→イベントへの対応力あり
- 城内坂を歩行者天国にすることが可能
- 夜のイベント:夜市のように商店街で協力

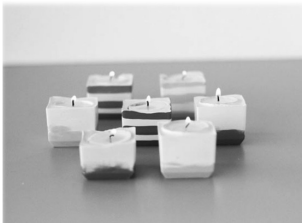
冬祭りのイベント1

- 県内の団体とのコラボレーション
→ダンス、アカペラ、合唱等
- 益子カフェ×益子焼き
→あたたかいスープ、お茶の提供
“ほっとするぬくもり”

冬祭りのイベント2

- ワークショップの開催
 - セッコウのキャンドルホルダー作り
 - 藍染めのランプシェード作り
 ※2日間で完成→宿泊客の増加
- 民芸品の販売
→益子焼き、ランプシェード等

セッコウのキャンドルホルダー



<http://matome.naver.jp/odai/2142096056472152801/2142155613462030903>

Q.なぜセッコウ?
→リサイクル可能

【作り方】

- 1.シリコン容器に石膏を入れる。
- 2.キャンドルの容器だけを石膏の中に入れ、コインなどで重しをして乾くまで待つ。
- 3.シリコン容器から石膏を取り出し、絵具と筆でペイントする。
- 4.明かりを灯す。

キャンドルイメージ



藍染めのランプシェード

- 藍染めの風合いを楽しむことができる
- 光に照らされた藍色の美しさ
→光が透ける素材を使用する
- 藍染めの性質に適する

- ①糸を頑固にする効果
- ②火消し装束の歴史
- ③防虫効果



- 作成方法→要相談
(烏山の和紙とのコラボレーション？予算との兼ね合い)

今後の課題1

- 周知方法
→メディア(新聞・テレビ)、益子HPの利用
- 宿泊施設の有無
→益子活性化のための真の課題！
 - ・農家に民泊？
 - ・新たな宿泊施設の建設？

今後の課題2

- 交通整備：現状は不便！
→宿泊施設に焦点を当てる！
- 駐車場について
→夜市の経験からどうすべきか？
- (まずは)宇都宮からの観光客を増やす
→宇都宮との関係を明示？
(例：宇都宮家との関係)

今後の課題3

- ろうそくに関する対策
 - ・耐久性、持続性(風対策)→ガラス瓶の使用
 - ・火災対策→ガラス瓶の使用
 - ・雨(水)対策→協力が重要
- 暗闇による観光客のケガ対策
イベント中：夜も店を開く→明かりの確保
※段差近くに人員設置、注意喚起

ご清聴ありがとうございました。